



ブラジル視察プログラム

中南米との農業・食産業ビジネスマッチング

ブラジル市場への展開を促進するため、ブラジル視察プログラムを実施します。
ブラジルでの農業・食品分野のビジネスに関心のある企業の方はぜひ、お問合せください。

内容	ブラジル視察 2024年1月下旬～2月上旬（10日間程度）、1月31日を中心とし、前後は参加企業の要望に応じて設定可能。
対象	日本の農業・食産業企業 2社程度 （農業資材・機械、食品、調味料、水産、調理道具等）
応募方法	申込： https://www.nikkeiagri.jp ※応募多数の場合は選考となる可能性があります。 11月30（木）-2023年12月15日（金）まで延長
備考	- 渡航費・宿泊費として20万円補助（超過分は参加企業の自社負担） - 通訳帯同・現地行程手配

スケジュール（変更の可能性あり）

1月26日（金）日本出発
1月27日（土）ブラジル到着
1月28日（日）市内見学
1月29日（月）JETRO・商工会議所
1月30日（火）視察
1月31日（水）ビジネスセミナー
2月1日（木）各自
2月2日（金）視察・マッチング
2月3日（土）ブラジル出発
2月4日（日）日本帰国
※日程は変更の可能性あり
参加企業に応じて組み立て

- ◆参加企業の関心に合わせた視察プログラムを組み立てます。
- ◆ビジネスセミナーでは商談相手となるブラジル側企業とのマッチングを行います。



過年度事業の中南米現地視察の様子

中南米の市場の特徴と魅力

210万人の日系人社会

日本に対する理解、友好関係

名目GDP約5.2兆ドルの市場規模

ASEANの1.8倍（2018年、IMF）中南米の人口は6.44億人

農業大国（穀物・肉類）

世界の大豆生産の半分を占める、日本の鶏肉輸入は7割がブラジル産

日本食ブーム

日本料理が健康食品として認知され和食レストラン増えている

日本の技術を求める声は大きい

農業機械・農業資材・食品加工など、日本の技術・商品への期待は高い



ビジネス交流の過去の実績

本事業ではこれまでに様々な日本企業を中南米に派遣し、市場視察や商談会を行ってきました。ブラジルの現地視察によって、ブラジルもしくは中南米へのビジネス展開を検討されてはいかがでしょうか。

過去に派遣した企業の分野：

農業機械、中古農業機械輸出、果汁飲料、種苗、農業資材、土壌改良剤、食品加工、食品乾燥機械、鮮度保持包装資材、等

中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業

事務局：中央開発株式会社 グローバルセンター

Tel：050-3199-1712 E-Mail：nikkeiagri@ckcnet.co.jp

<https://www.nikkeiagri.jp>

nikkeiagri

www.nikkeiagri.jp

